

2014年度事業報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会等との連携による地域まちづくりの課題に、具体的に取り組むとともに、人材育成のためのインターンシップを実施する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

1) 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

ア 誰でもが地域に住み続けるための課題を解決するための事例研究と事例集の発行

- ・内 容 少子高齢化社会の追浜地域においてこみゆに亭カフェは空き店舗活用であり、地域の多様な人の居場所になっている。下記に記述するが新しいマンションであるルネ追浜の中でも親子サロンを月一度実施している。また町内会や自治会でも高齢者向けのサロンをやったりまたコミュニティセンターで親子サロンを実施したりしている。

2014年度は事例を整理したが、事例集の発行にはいたらなかった。

イ マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

- ・内 容 追浜東町に建設された「ルネ追浜」入居者のコミュニティ形成がスムーズにできるよう、2012年度「コミュニティ醸成支援事業」(委託先 総合地所(株))を行ったが、ルネ追浜管理組合からコミュニティ醸成のための支援をして欲しいとの要請があったので、今年度も、ルネ追浜のコミュニティ醸成の支援を続した。具体的な事業は下記のとおりである。
 - 8月2日 ワンコインパーティ (全居住者対象)
 - 親子サロン 毎月第三木曜日 (未就学児と親)
 - 連続コミュニティ講座 (全居住者対象)
 - 8月23日 第1回 みどりと香りの探検 (早川広美)
 - 8月30日 第2回 リズム体操 (山村アリーシャ)
 - 9月6日 第3回 防災に備えよう (吉田洋子)
- ・場 所 ルネ追浜、こみゆに亭カフェ等
- ・従事者人員 当法人の役員、会員等 延50名
- ・対 象 者 ルネ追浜居住者
- ・支 出 額 320,706円

2) 地域資源の保存・活用に関する事業

ア 市民を対象に「追浜の歴史遺産メモリアル・産業観光ツアー」を開催

・内 容

横須賀中央地区は来年で横須賀製鉄所開150年を迎える。その歴史に劣らず、大正元年に追浜の浜では、初めて水上飛行機が飛びたち、以降、航空機の時代に入り、旧海軍横須賀航空隊は全国の先駆けとなった。現在も、戦前の海軍航空技術廠の「モノ造りの伝統」が引継がれ、この地から

世界を目指す日産自動車や住重、海洋開発研究機構等が存在している。
この地の自然や歴史遺産を巡る市民対象の貝山・夏島ツアーや追浜の工業地
域の日産自動車追浜工場等を巡る産業観光を開催する。2014年度は試験的に
モデルツアーを実施した。

- ・日 時 11月18日
- ・場 所 貝山緑地
- ・従事者人員 当法人の役員（青木 猛）
- ・対 象 者 おっぱまはっけん倶楽部
- ・支 出 額 5,000円

イ 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・内 容 第三海堡遺構の見学については、個人、団体の予約を受け付けるとともに
当面毎月第一日曜日を予約無しでの一般見学日とし、ガイドツアーを実施す
る。2014年度の参加者は下記のとおりである。トータルすると悪天候時の影
響が出てくるが、見学者は着実に増えている。2014年度は、『東京湾第三海
保物語』の増刷を行った。

- ・日 時 2012年4月1日から2013年3月31日まで
- ・場 所 夏島都市緑地
- ・従事者人員 当法人役員、会員およびおっぱまはっけん倶楽部 延べ100人
- ・対 象 者

1) 一般公開日（毎月第一日曜日）

4月6日	33人	10月6日	28人	
5月4日	69人	11月2日	39人	
6月1日	46人	12月7日	35人	
7月6日	43人	1月11日	39人	
8月3日	20人	2月1日	53人	
9月7日	5人	3月1日	2人	計 367人

2) 団体の見学者

5月11日	JR東日本労組	47人	、	2月3日	あさの会	12人
5月15日	京急社友会	105人	、	2月6日	防衛大	33人
6月14日	水と環境を考える会	13人	、	3月5日	房総の会（ふさの会）	22人
3月11日	横須賀市文化振興課企画	観音崎・第三海堡・長官官舎見学				33人
					計	265人

3) イベント時の入場者（概数）

7月21日	アイクルフェア	186人	
10月18日	Y・フェスタ追浜	400人	
11月24日	アイクルフェア	211人	
3月21日	アイクルフェア	176人	計 973人

- ・支 出 額 210,255円

ウ 追浜の自然や歴史遺産を活かすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容
 - ① 自然と歴史が数多く存在する貝山・杏の里や第三海堡周辺は、追浜の宝である。散策し易いコースを作るため、貝山周辺の現地調査を行い、貝山の横断散策路などアクセス作りのための検証を行い、フィールドミュージアム構想の考え方として、一例を探る。
 - ② この結果を得て、追浜の市民に貝山の啓発する機会を作り、併せて具体的に、歴史的、工学的な重要性ある貝山地下壕等の紹介も出来るよう、他団体

と連携する。今後、行政への働きかけを継続し、公開できるよう糸口を探る。
随時検討を重ねており、「あんず通信」第9号で実施に向けての提案「追浜まる
ごとミュージアム・貝山の未来」（青木副理長）を掲載した。

- ・日 時 構想検討は随時
- ・従事者人員 当法人役員
- ・対象者 追浜地域住民等
- ・支出額 0円

エ 第三海堡遺構へスムーズに案内するための暫定的な案内看板の設置

- ・内 容 第三海堡に限らず、追浜には歴史遺産等への適切な案内板がない。
まちなかに案内板を作ることで、地元の人が地域資源を認識し、地域に誇り
を持てるようにする。2014年度は、横須賀市のNPO法人活動補助金により
金属製の大型案内看板を設置したので、遠くからでも見やすく、見学者の道
しるべとなっている。
- ・日 時 土日、イベント開催時などに設置
- ・場 所 第三海堡遺構周辺
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 約10人
*おっぱまはっけん倶楽部会員等の協力を求める。
- ・対象者 追浜住民、来外者等
- ・支出額 34,560円

オ 我が街・追浜の湘南妙義「鷹取山」の景観保存まちづくり活用

- ・内 容 幕末には、徳川幕府直轄の天領として、一般人の入山が禁止され、
鷹取山は幕府御料林が鬱蒼としていた。明治に入り廃藩置県から、官
有地が払い下げられ追浜の経済を支えた。石切り場として石材採取、
石を運ぶ海運も発展した。今は、石切り場の山肌が露出し、歴史を刻
む奇岩の湘南妙義・鷹取山が存在する。山は、健康志向の場として安
心・安全なミニ登山や観光のため当NPO法人が中心となり、山を愛
する湘南鷹取の町内会、横須賀山岳協会、勤労者山岳協会等が協働し
て景観保存の整備のため、雑草雑木等の手入れをしている。
- ・日 時 10月10日
- ・場 所 鷹取山
- ・従事者人員 当法人役員、会員、鷹取地域住民等 約30名
- ・対象者 鷹取山利用者、鷹取地域住民
- ・支出額 0円

3) まちづくりの人材育成に関する事業

ア 追浜でのワールドカフェの実施

- ・内 容 多様な人たちとワールドカフェをやることで追浜の将来像を明らか
にする。また行政への要求型でなく自分たちができることの展望も提案して
いく。2014年度は、ルネ追浜居住者対象に防災講座を行った。
- ・日 時 9月6日
- ・場 所 ルネ追浜マンション住区内
- ・従事者人員 当法人役員、会員 4名
- ・対象者 ルネ追浜居住者
- ・支出額 15,000円

イ NPO の運営などの勉強のための見学会やヒアリング等

- ・内 容 NPO の運営などの勉強のために他の NPO の見学会やヒアリングなど行う。2014 年度は実施に至らなかった。

4) 地域の活性化に関するイベント事業

ア おっぱまワイン寄席

- ・内 容 11 年目を迎えた「おっぱまワイン寄席」ではあるが、追浜地域内で開催場所が確保できるかどうか問題となった。会場が決まって実施したのは 2015 年 4 月 24 日となり、2014 年度準備のみとなった。
- ・場 所 追浜地域内で検討
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 10 人程度
- ・対 象 者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 4,742 円

イ 私のみせ

- ・内 容 月 1 回の出店者の会議（こみせオーナー会議）と手づくり講座等の企画支援。2014 年度に実施したのは下記の 3 回である。特に 2 月 6 日の籠づくりは人気で、これまで最高の 20 人が集まった。

第 31 回	11 月 5 日（水）暮らしにいかす折り紙のいろいろ	廣島壽子	6 名
第 32 回	2 月 6 日（金）暮らしにいかす小さな籠づくり	根岸美枝	8 名
第 33 回	3 月 13 日（金）リボンでポピーを作しましょう	廣島壽子	20 名

- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延べ 10 名
- ・対 象 者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0 円

ウ こみゆに亭カフェを活用したイベントの実施

- ・内 容 年間 3 回程度の各種イベントを予定したが、実施したのは 12 月 22 日のアルパ（南米のハーブ）コンサート 1 件であった。演奏者は地域内に居住しており（湘南鷹取）、多くの聴衆が入って盛会だった。
- ・日 時 12 月 22 日
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 5 名
- ・対 象 者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0 円

以下の事業は、NPO 法人アクションおっぱまが(協)追浜商盛会と協力して行う。

③ 酒類の醸造及び販売事業

- ア 横須賀おっぱまワインの醸造・販売
ワイナリーでの醸造や地域での販売協力を行った。

④ 地域の特産品の製造及び販売事業

- ア 地域連携農産物の販売
販売に協力した。

5) 広報等に関する事業

ア NPO 法人アクションおっぱまの会報の編集・発行

- 予定通り「あんず通信」第 8 号を 月、第 9 号を 月に発行した。
- ・ ページ数と発行部数：4 ページ（A4 版）、100 部

・ 支 出 額 : 20,413 円

以上